

2023 さいたま市議会議員選挙 公開政策アンケート

2023年2月 さいたま市学童保育連絡協議会

日頃より学童保育にご理解、ご支援を頂きまして、ありがとうございます。
学童保育の今後の在り方についてご意見を伺い、今後の参考にさせていただくとともに、広く会員に知らせ、投票の参考とさせていただきますので、下記のアンケートにご協力ください。
学童保育の現状につきましては、別添の資料を参考にいただければ幸いです。

以下の項目にご賛同いただけましたら、にチェックを入れてください。

1. さいたま市の委託金制度について / 安定した運営のために

- 学童保育は1クラブあたり40名以内の適正規模で継続的・安定的な運営が行われるよう十分な財政的支援が必要である

(委託金制度についてお考えをお聞かせください)

2. 新設・分離の支援を含めた学童保育施設の施策について

- 学校内や公的な施設を利用して運営される学童保育をより増やしていくべきである
 施設の修繕、家賃をはじめとする施設維持の経費は、保護者に負担させるべきではなく公費で賄うべきである
 クラブを新設・分離・移転等における改修費用、移転費用などの経済的負担は、保護者に負担させるべきではなく公費で賄うべきである
 クラブを新設・分離・移転する際の物件探しについては、行政もできる限りのあっせんや提供等の役割を果たすべきである

(学童保育の新設・分離についてお考えをお聞かせください)

学校内クラブを増やすべき
物件のあっせんは行政の主導で

3. 保護者負担の軽減のために

- 公設クラブと民設クラブの保育料格差は解消されるべきである
 経理・人事・労務など諸経費は保育にかかる経費とは別に予算化、支出されるべきである

(保護者負担の軽減についてお考えをお聞かせください)

4. 人手不足解消のために

- 安心・安全の保育のために、職員は常勤複数体制を配置すべきである
 支援員の安定雇用のために、公費による処遇改善を進めるべきである
 職員の専門性を高めるために、研修をより充実し、質の向上を図るべきである
 行政主催・後援の合同募集や職員バンクなど、保育園と同等の職員確保策を実施すべきである

(人手不足の解消についてお考えをお聞かせください)

公的で職員確保策は必須

5. ご本人のアピール、学童保育の保護者・支援員へのメッセージなどがございましたらお書きください

支援員の処遇改善が求められる
学童の増設(定数教室利用)

ご署名 佐伯加奈

ありがとうございました。ご回答いただいたアンケートはこのまま公開させていただきます。

日頃より学童保育にご理解、ご支援を頂きまして、ありがとうございます。
学童保育の今後の在り方についてご意見を伺い、今後の参考にさせていただくとともに、広く会員に知らせ、投票の参考とさせていただきますので、下記のアンケートにご協力ください。
学童保育の現状につきましては、別添の資料を参考にいただければ幸いです。

以下の項目にご賛同いただけましたら、□にチェックを入れてください。

1. さいたま市の委託金制度について / 安定した運営のために

- 学童保育は1クラブあたり40名以内の適正規模で継続的・安定的な運営が行われるよう十分な財政的支援が必要である

(委託金制度についてお考えをお聞かせください)

学童保育の運営については、行政が責任をもつべきと考えます。公立でも民間でも行政が学童クラブの運営を支える財政支出は当然です。さいたま市の委託金は不十分と考えます。

2. 新設・分離の支援を含めた学童保育施設の施策について

- 学校内や公的な施設を利用して運営される学童保育をより増やしていくべきである
- 施設の修繕、家賃をはじめとする施設維持の経費は、保護者に負担させるべきではなく公費で賄うべきである
- クラブを新設・分離・移転等における改修費用、移転費用などの経済的負担は、保護者に負担させるべきではなく公費で賄うべきである
- クラブを新設・分離・移転する際の物件探しについては、行政もできる限りのあっせんや提供等の役割を果たすべきである

(学童保育の新設・分離についてお考えをお聞かせください)

新設・分離が実態としては民間任せになっており、保護者運営の学童クラブでは大変な負担になっています。要望の項目を実施すべきと考えます。

3. 保護者負担の軽減のために

- 公設クラブと民設クラブの保育料格差は解消されるべきである
- 経理・人事・労務など諸経費は保育にかかる経費とは別に予算化、支出されるべきである

(保護者負担の軽減についてお考えをお聞かせください)

民間に大きく依存しているから、保育料が公立と比べてかなり高いのは問題です。経費の増額や教員の処遇改善補助の大幅な上乗せ、保育料の補助が必須と考えます。

4. 人手不足解消のために

- 安心・安全の保育のために、職員は常勤複数体制を配置すべきである
- 支援員の安定雇用のために、公費による処遇改善を進めるべきである
- 職員の専門性を高めるために、研修をより充実し、質の向上を図るべきである
- 行政主催・後援の合同募集や職員バンクなど、保育園と同等の職員確保策を実施すべきである

(人手不足の解消についてお考えをお聞かせください)

処遇改善の同補助があるにもかかわらずさいたま市が一部しか活用していないのは問題だと考えます。働き続けられる給与が保障できる処遇改善と合わせてアンケート項目を全面的に実施してほしい

5. ご本人のアピール、学童保育の保護者・支援員へのメッセージなどがございましたらお書きください

息子2人も学童保育でお世話になりました。私が働くことができたのは、学童保育のおかげです。私は、教師として、学校での子と先生の姿を見てきましたか、学校では見せぬので見せぬ姿を見せられるのが、学童保育です。子を託すのが、お母さんであるため、行政に頼りかたければなりません。そのための処遇改善、人量の増加を行政がとむことを強く望みます。 署名 山本 ゆう子

ありがとうございました。ご回答いただいたアンケートはそのまま公開させていただきます。

2023さいたま市議会議員選挙 公開政策アンケート

2023年2月 さいたま市学童保育連絡協議会

日頃より学童保育にご理解、ご支援を頂きまして、ありがとうございます。学童保育の今後の在り方についてご意見を伺い、今後の参考にさせていただくとともに、広く会員に知らせ、投票の参考とさせていただきますので、下記のアンケートにご協力ください。学童保育の現状につきましては、別添の資料を参考にいただければ幸いです。

以下の項目にご賛同いただけましたら、□にチェックを入れてください。

1.さいたま市の委託金制度について / 安定した運営のために

- [x] 学童保育は1クラブあたり40名以内の適正規模で継続的・安定的な運営が行われるよう十分な財政的支援が必要である

(委託金制度についてお考えをお聞かせください)

[Empty text box for response]

2. 新設・分離の支援を含めた学童保育施設の施策について

- [x] 学校内や公的な施設を利用して運営される学童保育をより増やしていくべきである
- [x] 施設の修繕、家賃をはじめとする施設維持の経費は、保護者に負担させるべきではなく公費で賄うべきである
- [x] クラブを新設・分離・移転等における改修費用、移転費用などの経済的負担は、保護者に負担させるべきではなく公費で賄うべきである
- [x] クラブを新設・分離・移転する際の物件探しについては、行政もできる限りのあっせんや提供等の役割を果たすべきである

(学童保育の新設・分離についてお考えをお聞かせください)

[Empty text box for response]

3.保護者負担の軽減のために

- [x] 公設クラブと民設クラブの保育料格差は解消されるべきである
- [x] 経理・人事・労務など諸経費は保育にかかる経費とは別に予算化、支出されるべきである

(保護者負担の軽減についてお考えをお聞かせください)

[Empty text box for response]

4.人手不足解消のために

- [x] 安心・安全の保育のために、職員は常勤複数体制を配置すべきである
- [x] 支援員の安定雇用のために、公費による処遇改善を進めるべきである
- [x] 職員の専門性を高めるために、研修をより充実し、質の向上を図るべきである
- [x] 行政主催・後援の合同募集や職員バンクなど、保育園と同等の職員確保策を実施すべきである

(人手不足の解消についてお考えをお聞かせください)

[Empty text box for response]

5.ご本人のアピール、学童保育の保護者・支援員へのメッセージなどがございましたらお書きください

保護者の皆様においては、学童保育は、保育園に比べ難題があると承知しております。当然、保育園思数に見合う学童の施設整備を行うべきで、子供の安全と第一に保護者が負担して預けることのできる質の確保も重要です。そのために、今回のアンケート項目1つ1つを表現するのは、喫緊の課題であると承知しております。学童保育の質と量の確保、職員の処遇改善は、私の重点政策の一つであり、保護者の皆様と合わせて、確実に前へ進めたいと考えています。ご署名 西山 幸一

ありがとうございました。ご回答いただいたアンケートはそのまま公開させていただきます。